

社会福祉法人愛生会

令和2年度事業報告書

1. 本部拠点（八千代市吉橋 1059-17）
 - ①社会福祉法人愛生会
 - ②特別養護老人ホーム愛生苑・ショートステイ愛生苑
 - ③在宅介護支援センター愛生苑
 - ④ケアハウスガーデンライフ八千代
2. かがやき拠点（八千代市大和田新田 346-1）
 - ①愛生苑デイサービスかがやき
3. なごみ拠点（八千代市緑が丘 2-17-1）
 - ①グループホームなごみ
 - ②小規模多機能居宅介護なごみ
4. 村上地域拠点（八千代市村上 1113-1 村上団地 2-7-104）
 - ①八千代市村上地域包括支援センター

令和2年度 社会福祉法人愛生会の事業報告

はじめに（総括）

令和2年度は新型コロナウイルスの対応に迫られる形となった1年でした。入念な感染症対策を講じて、また、皆様のご理解とご協力を得られた結果、愛生会におきましてはおかげさまで新型コロナウイルスの感染者はゼロとなっております。しかしながら、ご利用者様およびご家族様に面会の制限等のご不便とご迷惑をおかけすることになり、職員にも感染症対策の強化と自身が罹患する可能性の怖さなどで心身ともに疲労が見られたと思われま

す。また、感染症対策用品の供給不足と価格の高騰で、支出に影響がみられるところではありましたが、新型コロナウイルス感染症緊急包括支援事業補助金等を活用させていただき、非常にありがたく感じております。

引き続き安全確保のための徹底した対策を講じて参りますが、ご利用者様やご家族様へのご不便を最小限にし、社会福祉法人としての役割や使命を全うするために取り組んで参ります。

決算としては令和元年度と比較して、令和2年度は収支差額の改善が見られました。事業計画の一端であった小規模多機能型居宅介護の定員変更（25名から29名に増員）とショートステイの利用率の向上が大きな要因となっております。一方で、デイサービスにおいては新型コロナウイルスによる多少の利用控えが見られ、利用率の減少につながっているため早急な対応が必要となります。入所系事業は前年度同様に堅調な利用率を維持できましたので、コロナ禍であっても工夫を凝らして、より一層のサービスの向上や質の向上に取り組んで参ります。

令和3年度も新型コロナウイルスの動向が施設運営に影響を及ぼすことになると予想しております。その様な中で、感染症対策としてワクチンの接種がキーポイントになると考えられます。行政や医療機関と緊密な連携を図り、可能な限り速やかに接種できるように対応し、安全安心の体制を築いていきたいと思

令和2年度 特別養護老人ホーム愛生苑・ショートステイ愛生苑の事業報告

1. 特別養護老人ホーム 愛生苑

(1) 令和2年度 月別入退所状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
入所	2名	0名	0名	1名	1名	0名	2名	0名	2名	1名	2名	0名
退所	0名	1名	1名	0名	0名	1名	2名	4名	0名	1名	1名	1名

新規入所 合計 11名（経緯：在宅6名、他施設2名、病院3名）

退 所 合計 12名（苑内にて1名、病院にて5名、長期入院6名）

(2) 令和2年度 月末入所者数の推移

	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合計	延べ人数
4月	0名	4名	13名	27名	20名	64名	1,836名
5月	0名	4名	13名	27名	19名	63名	1,884名
6月	0名	4名	13名	26名	19名	62名	1,797名
7月	0名	4名	13名	27名	19名	63名	1,859名
8月	0名	3名	14名	27名	20名	64名	1,866名
9月	0名	3名	14名	27名	19名	63名	1,714名
10月	0名	3名	15名	26名	19名	63名	1,811名
11月	0名	3名	14名	25名	17名	59名	1,785名
12月	0名	3名	14名	27名	17名	61名	1,773名
1月	0名	3名	14名	28名	17名	62名	1,766名
2月	0名	3名	14名	28名	17名	62名	1,588名
3月	0名	3名	14名	28名	17名	62名	1,741名
合計	0名	40名	165名	323名	220名	748名	21,420名

※定員64床にて稼働

(3) 年齢構成 ※令和2年度末月集計より

年齢階層	60歳～69歳	70歳～79歳	80歳～89歳	90歳～99歳	100歳～
男女合計	0名	9名	28名	25名	0名

(4) 令和2年年度年間の男女平均年齢、最高年齢

男性平均年齢	83.4歳	最高年齢	96歳
女性平均年齢	88.0歳	最高年齢	100歳
男女平均年齢	87.1歳		

(5) 平均介護度

・男性平均介護度 3.8 ・女性平均介護度 4.0 ・男女合計平均介護度 4.0

(6) 令和2年度 年間行事活動報告

	装飾	行事・外出	月間レクリエーション
4月	桜	カラオケ (少人数)	お楽しみ入浴、生け花 レクリエーション
5月	鯉のぼり	カラオケ (少人数) 映画鑑賞	お楽しみ入浴、生け花 レクリエーション
6月	あじさい	カラオケ (少人数) ソフトクリーム屋さん	お楽しみ入浴、生け花 レクリエーション
7月	七夕飾り	カラオケ (少人数) 映画鑑賞	お楽しみ入浴、生け花 レクリエーション
8月	夏の装飾	カラオケ (少人数)	お楽しみ入浴、生け花 レクリエーション
9月	秋の装飾	カラオケ (少人数) ソフトクリーム屋さん	お楽しみ入浴、生け花 レクリエーション
10月	紅葉	カラオケ (少人数) 映画鑑賞	お楽しみ入浴、生け花 レクリエーション
11月	冬の装飾	カラオケ (少人数)	お楽しみ入浴、生け花 レクリエーション
12月	クリスマスツリー 正月飾り	クリスマス会、ホットケーキクッキング カラオケ	お楽しみ入浴、生け花 レクリエーション
1月	正月飾り	初詣、カラオケ (少人数)	お楽しみ入浴、生け花 レクリエーション
2月	節分	カラオケ (少人数)	お楽しみ入浴、生け花 レクリエーション
3月	ひな人形	ひな祭り、お花見ドライブ、カラオケ	お楽しみ入浴、生け花 レクリエーション

集団でのレク活動は行わず、3密回避対策にて数名単位でのレク活動を中心に実施しました。行事は計画していましたが、緊急事態宣言発令等により感染予防対策の為やむを得ず中止とす

るイベントも発生しました。また外出行事はほとんど中止となった為、装飾に力を入れ季節を感じて頂けるように対応したり、個別に行う余暇などへ切り替えた状況でした。

2. ショートステイ愛生苑

(1) 令和2年度 月別利用者数の推移

	要支援	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	実人数	延べ人数
4月	2名	4名	94名	182名	115名	39名	31名	436名
5月	2名	4名	97名	185名	120名	49名	30名	457名
6月	0名	9名	92名	178名	113名	47名	33名	439名
7月	0名	6名	88名	154名	120名	51名	28名	419名
8月	0名	6名	98名	153名	131名	57名	31名	445名
9月	0名	8名	68名	146名	153名	52名	31名	427名
10月	0名	8名	73名	129名	179名	56名	30名	445名
11月	0名	8名	66名	126名	181名	79名	30名	460名
12月	2名	8名	64名	130名	163名	80名	32名	447名
1月	0名	8名	58名	102名	160名	93名	28名	421名
2月	0名	7名	53名	113名	104名	82名	28名	359名
3月	0名	2名	51名	130名	124名	65名	22名	372名
合計	6名	78名	902名	1,728名	1,663名	750名	354名	5,127名
割合	0.1%	1.5%	17.6%	33.7%	32.5%	14.6%	—	—

(2) 利用状況

①令和2年度新規利用者数 17名(全て八千代市在住の方)

②地区別利用実績 八千代市、習志野市、船橋市、東京都葛飾区

(3) 年齢構成

①令和2年度末月集計より

	～59歳	60歳～69歳	70歳～79歳	80歳～89歳	90歳～99歳	100歳～
男性	0名	1名	3名	2名	1名	0名
女性	0名	0名	5名	6名	4名	0名

(4) 令和2年度年間男女平均年齢、最高年齢

男性平均年齢	77.6 歳	最高年齢	95 歳
女性平均年齢	86.1 歳	最高年齢	98 歳
男女平均年齢	83.4 歳		

(5) 平均介護度

- ・男性平均介護度～2.9
- ・女性平均介護度～3.2
- ・男女平均介護度～3.1

3. 各課業務、活動報告

(1) 生活相談課

①業務報告

入退所業務	月次業務	行政との連絡調整	地域連携、その他
<ul style="list-style-type: none"> ・入所相談 ・入所申込者管理 ・入所検討 ・事前面接、調整 ・契約書作成、説明 ・書類作成 ・貴重品管理、返還手続き ・契約解除手続き ・行政へ報告書類作成 	<ul style="list-style-type: none"> ・相談業務 ・生活状況確認 ・ご家族への連絡 カンファレンス 近況報告、書類作成 入退院連絡調整 ・苑内外の行事調整 ・介護保険請求業務 ・受診、救急対応 ・各会議への参加 ・送迎業務 ・事業所間連絡、調整 	<ul style="list-style-type: none"> ・入退所状況報告及び書類作成 ・介護保険申請 ・認定調査調整 ・行政代行手続き ・各種報告書作成 ・不在者投票事務 ・生活保護受給者の連絡調整及び書類作成 	<ul style="list-style-type: none"> ・施設見学、説明 ・新型コロナウイルス感染症対策 ・面会制限等の調整、準備、消毒対策

②部門計画の報告

＝特別養護老人ホーム愛生苑＝

1. 空床期間の削減

新型コロナウイルス感染症対策に追われる1年となり、事業所全体での内部要因やその他外部要因により、従来通りの入所業務を行うことが出来ず、空床が発生しやすい状況でした。また、利用者状況については変化なく、入退院を繰り返すケースや長期入院するケースが継続発生しました。感染症対策継続における退所から入所の更なる早期対応への取り組み、受け入れ体制継続や充実化が次年度の課題となりました。

2. 多職種協働によるチームケア

感染症対策によって利用者生活では自粛や制限が多く、感染症発生予防は出来ましたが利

用者の心身への影響が懸念される1年となりました。また、家族との対面機会も減り、関係性の希薄化や生活状況が把握しづらい懸念がありましたが、説明機会を多く設け日々の蓄積データを活用することで内容の充実化を図りました。感染症対策を継続した中で、適切なサービスが提供できる体制づくりや情報共有方法が次年度の課題となりました。

＝ショートステイ愛生苑＝

部門計画の報告

・中長期利用者の受け入れ体制と顧客満足

コロナウイルス感染拡大への懸念から利用キャンセルに繋がり、また入院によるキャンセルが発生することで稼働率が大きく左右される状況でしたが、在宅介護生活困難となった中長期期間利用者の受け入れ体制を継続することによって稼働率を維持しました。また、新規受け入れも継続していましたが、一時的な利用に留まり年度を通して実人数増加へとは繋ぐ結果に至りませんでした。サービス内容についても、新型コロナウイルス感染症対策によって制限する場面が多く発生する結果となりました。

次年度に向けて感染症対策を踏まえた受け入れと稼働率維持、個別ケアや顧客満足が継続課題となりました。

(2) 介護サービス課

①部門計画の報告

1. 固定フロア勤務の導入

7月から固定フロア勤務へ移行しました。2階エリア、1・3階エリアに職員配置を固定する事で、ご利用者の状況把握量が半分になり、職員負担の軽減ができました。ご利用者にとっても職員が固定された事で馴染みの顔を見、安心して頂ける効果が得られました。業務体制の見直しに重点をおき、令和2年度は取り組み改善を図っていましたが、令和3年度はレクリエーション活動を充実させる事を重点取り組み課題として上げ、各エリアに見合ったレク活動を定期的実施して行き、新型コロナウイルス感染予防を十分に留意し、楽しみある生活の提供を実施していきます。

2. 残業時間の削減

2年度から課内で労務時間管理を行う事で、職員の業務実態を把握する事ができました。職員自身業務に対する意識が変わり、業務終了後は速やかに退勤し自己の健康管理に努めていました。業務時間内に委員会業務や居室担当業務が行えるように勤務管理をした事で、一部の残業時間を削減する事ができました。制度上必要な会議も業務時間内に計画的に実施できたことで、同様に残業削減へと繋がりました。反面、勉強会開催などは新型コロナウイルス感染症対策で3密回避にて個別化を考え、各委員会より問題課題の予防対策や勉強資料、

留意事項の情報発信へと変更してきました。今後も継続し、職員の働きやすい職場環境や感染予防対策を踏まえ整えて行きます。

3. 服薬事故を減らす

毎月リスク委員会会議を開催し、事故・不明外傷・服薬事故の分析と対策を話し合い、再発防止の取り組みを前年度より強化してきました。リスク委員会から再発防止の発信、予防対策の統一性などの進捗管理を行い、一時的に服薬事故の件数は大幅に減少しました。一方で小さな不明外傷の報告や発見が数名につき上がり、発生要因や分析、予防対策を練り成果があった時期もありました。年度末になり新たな症例で増えつつあるので、今後ご利用者の状態像と行動範囲を検証し、予防対策を講じていきます。

②委員会の各種活動報告

委員会名	活 動 内 容
生活委員会	<p>排泄担当：排泄用品の管理と集計、排泄状況の把握・見直し、勉強会開催 排泄一覧表更新、毎月活動報告書提出</p> <p>入浴担当：入浴機器、物品（集毛器・機械浴・消毒・ろ過装置・備品）の管理、入浴形態の変更、入浴チェック表の管理、入浴一覧表作成、清掃チェック表の確認、活動報告書提出</p> <p>食事担当：食品発注・歯ブラシ交換と管理・食品棚・冷蔵庫整理、ポット洗浄、トロミー一覧表変更、食事摂取表の管理 おしぼり・タオル・エプロン・物品の購入と管理</p>
レク委員会	年間行事の決定、参加ご利用者・担当職員決め、月間予定表の作成、レク用品・装飾用品の管理、装飾実施、お楽しみ入浴・お楽しみおやつ・クッキング・余暇活動の企画と実行、栄養士と連携し行事食の実行
リスク委員会	リスクマネジメント（事故集計、要因分析、再発予防策協議と発信・進捗管理、ヒヤリハット）、安全用品（感知センサー等）の管理・修繕、勉強会、書式改善等
感染症委員会	<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染症対策 資料提示、3密回避、マスク、手袋、個別アルコール消毒液配布、職員健康管理チェックシートなど ・標準感染症対策 物品管理とマニュアル作成、注意喚起、寝具管理、害虫駆除対策、毎月掃除用具の管理・交換、勉強会開催、感染予防への啓発活動、靴洗い管理

褥瘡予防委員会	勉強会開催、マニュアル・指針の改定、毎月会議にてOHスケール評価し計画書作成と振り返り（データ管理）、エアマット・体位変換クッション・座面クッションの購入・管理、体圧測定と褥瘡予防
---------	--

③施設内外研修及び勉強会開催内容

4月	新人職員オリエンテーション、感染症研修
5月	
6月	新型コロナウイルス勉強会（ZOOM研修会参加）
7月	感染症対策管理者向け研修会
8月	
9月	床ずれ予防オンライン勉強会
10月	認知症オンライン勉強会、床ずれ予防オンライン勉強会、台風災害ZOOM
11月	リスク勉強会
12月	
1月	デンタル勉強会（全職員対象）、介護保険改正
2月	ひやりはっと事例オンライン勉強会、新規採用職員合同オンライン研修会
3月	救急対応勉強会、褥瘡勉強会、感染症勉強会

2年度は、集団で集まることを避け（3密回避）、少人数制における会議・研修・勉強会へ切り替えました。研修はオンラインなどを活用したり、勉強会などは各課へ資料配布にて対応した年度となりました。

（3）医務サービス課

①健康管理活動報告

定期健康診断	年1回（令和2年4月1日～令和3年3月31日実施）
回診	週1回（毎週金曜日 午後実施）
協力病院	新八千代病院
新規入所者	入所前情報提供依頼及び入所後の検診

定期健康診断	胸部レントゲン、頭部CT、心電図、尿検査、血液検査（血清・生化・血糖）
新規入所者	新型コロナウイルスPCR検査 感染症検査、結核、W氏、HBC、HCV、MRSA その他、上記定期健康診断項目

外来受診者延べ人数

専門外来	人数	入院
内科	82名	35名
外科	1名	0名
脳外科	15名	0名
整形外科	39名	3名
精神科	30名	0名
神経内科	8名	0名
婦人科	2名	0名
泌尿器科	4名	0名
眼科	3名	0名
皮膚科	71名	0名
耳鼻科	4名	0名
血液内科	0名	0名
歯科	0名	0名
合計	258名	38名

受診先：新八千代病院 八千代病院 セコメディック病院 島田台病院 岡崎外科
 東京女子医大八千代医療センター むらた整形外科クリニック 加藤眼科
 ろみた整形外科 東京医科歯科大学附属病院

その他

訪問歯科（鈴木歯科医院）	延べ数	460名受診
インフルエンザ予防注射実施	利用者	57名

②勉強会、委員会等の各種参加報告

委員会参加	会議参加	研修参加	勉強会	その他
<ul style="list-style-type: none"> ・感染症委員会 ・虐待防止委員会 ・入所判定委員会 ・リスク委員会 ・褥瘡対策会議 ・身体拘束廃止委員会 	<ul style="list-style-type: none"> ・特養会議 ・ケースカンファレンス ・給食会議 ・入所判定会議 ・協力病院連携会議 	<ul style="list-style-type: none"> ・感染症と予防策 ・新型コロナウイルス感染症 ・新入社員研修 	<ul style="list-style-type: none"> ・感染症研修会 ・褥瘡 ・ポジショニング ・新型コロナウイルス感染症 	<ul style="list-style-type: none"> ・事前調査 ・終末期家族への説明 ・病院受診と連絡相談

③部門計画の報告

集団感染予防について

2年度は、新型コロナウイルス・インフルエンザ・ノロウイルス等による感染性胃腸炎ともに、施設内での感染はありませんでした。ご利用者は1日2回の検温と健康チェックを実施発熱者は有熱者外来受診対応とし、協力病院と連携を取りながら実施しました。職員も1日2回検温を実施し健康管理の徹底・マスク、ゴーグルの着用、手指消毒とスタンダードプリコーションの徹底を行いました。引き続き、全部署による集団感染予防に対するさらなる徹底と、発生時の対応について十分な話し合いを重ね、訓練・シミュレーションをしておくことが重要課題となりました。

昨年度までと比較して有熱者の早期受診が必要となったため受診件数が大幅に増加しました。発熱者は必ず受診という流れから、コロナ禍での「老衰状態のご利用者の施設での看取り」に関しても、今まで以上にご家族や病院と十分に話し合っておく必要性が挙がりました。

(4) 栄養管理課

1日平均食数状況

	特 養							小 計	ケアハウス	かがやき	小規模多機能	グループホーム	職 員	合 計
	主 食			副 食										
	ご飯	全粥	ミキサー	常食	刻み	超刻み	ミキサー							
4月	103	87	15	49	61	66	29	205	16	16	9	16	44	306
5月	110	87	12	55	61	67	26	209	40	17	10	17	43	336
6月	117	97	6	62	61	74	23	220	43	16	9	16	43	348
7月	114	97	6	56	57	81	23	217	43	16	10	16	42	344
8月	110	93	10	52	55	80	27	214	43	15	10	16	42	340
9月	116	92	13	52	60	76	32	220	40	15	11	15	40	341
10月	110	95	13	50	54	80	34	218	39	15	11	15	39	337
11月	105	94	12	44	55	78	34	211	41	16	10	14	41	333
12月	98	93	18	36	61	79	33	209	39	15	11	15	41	330
1月	99	93	18	37	59	78	36	210	40	13	11	17	40	331
2月	103	100	44	40	56	83	35	214	40	15	12	17	40	338
3月	99	93	37	59	78	36	36	210	40	13	11	17	40	331
平均	107	93	17	49	60	73	31	213	39	15	10	16	41	334

令和2年度 給与栄養目標量

別紙 給与エネルギー目標量設定表より、1,250Kcal、1,450Kcal、1,650Kcalの3つを設定した。

その他の栄養素の算出

たんぱく質 ⇒ カロリーの16% それぞれ、50.0g、58.0g、66.0g

脂肪 ⇒ カロリーの23% それぞれ、32.0g、37.0g、42.0g

EER 推定エネルギー必要量

EAR 推定平均必要量

RDA 推奨量

AI 目安量

UR 耐容上限量

DG 目標量

70歳からの摂取目安量

	たんぱく質(g)		総脂質(g)		炭水化物(g)		食物繊維 (g/日)	カルシウム(mg)			鉄(mg)		
	EAR	RDA	DG下限	DG上限	DG下限	DG上限	DG	EAR	RDA	UR	EAR	RDA	UR
男性	50.0	60.0	26.7	50.0	150.0	315.0	19以上	600	700	2,500	6.0	7.0	50
女性	40.0	50.0	26.7	50.0	150.0	315.0	17以上	500	650	2,500	5.0	6.0	40

	ビタミンA (μgRE)			VD	ビタミンB1(mg)		ビタミンB2(mg)		ビタミンC (mg)		食塩相当量(g/日)	
	EAR	RDA	UL	AI	EAR	RDA	EAR	RDA	EAR	RDA	EAR	DG
男性	550	800	2,700	5.5	1.00	1.20	1.10	1.30	85	100	1.5	8.0g未満
女性	450	650	2,700	5.5	0.80	0.90	0.90	1.10	85	100	1.5	7.0g未満

	推定エネルギー必要量	たんぱく質	脂質	炭水化物	食物繊維	Ca	Fe	VA	VD	VB1	VB2	VC	食塩
	Kcal	g	g	g	g	mg	mg	μg	μgRE	mg	mg	mg	g
常食Ⅰ	1,250	50.0	32.0	190.0	17.0	600	6.0	650	5.5	0.90	1.10	100	8g未満
常食Ⅱ	1,450	58.0	37.0	220.0	17.0	600	6.0	650	5.5	0.90	1.10	100	8g未満
常食Ⅲ	1,650	66.0	42.0	250.0	19.0	600	6.0	650	5.5	0.90	1.10	100	8g未満

【給食状況】

食事形態		推定エネルギー必要量	たんぱく質	脂肪	炭水化物	食物繊維	Ca	Fe	VA	VD	VB1	VB2	VC	食塩
主食	副食	Kcal	g	g	g	g	mg	mg	μg	μg	mg	mg	mg	g
御飯	常食	1,450	58.0	37.0	220.0	17.0	600	6.0	650	5.5	0.90	1.10	100	8g未満
全粥	刻み	1,380	57.0	35.0	210.0	15.0	600	6.0	650	5.5	0.90	1.00	100	8g未満
全粥	超刻み	1,300	55.5	33.0	200.0	13.0	600	6.0	650	5.5	0.90	1.00	100	8g未満
御飯	超刻み	1,400	56.0	35.5	215.0	13.0	600	6.0	650	5.5	0.90	1.00	100	8g未満
全粥1/2	超刻み	1,200	48.0	30.0	185.0	13.0	600	6.0	650	5.5	0.90	1.00	100	8g未満
ミキサー	ミキサー	1,100	51.7	28.0	165.0	11.0	600	6.0	650	5.5	0.90	1.00	100	8g未満
ミキサー多め	ミキサー	1,200	53.2	34.7	185.0	11.5	600	6.0	650	5.5	0.90	1.00	100	8g未満

ミキサー食等の詳細

	エネルギー	たんぱく質	脂質	水分	備考
	Kcal	g	g	cc	
ミキサー粥	168	2.5	0.3	228	御飯100g 水160cc
ミキサー多め	202	3.0	0.4	274	御飯120g
ミキサー大盛	218	3.3	0.4	296	御飯130g
全粥230g	163	2.5	0.2	191	
全粥250g	178	2.5	0.2	208	
全粥1/2	114	1.8	0.2	133	全粥160g
ミキサー副食	596	44.2	33.6		
全粥1/2 ミキサー	938	50	34.2	816	全粥160g
全粥230g ミキサー	1,085	51.7	34.2	990	

【行事状況】

月	行 事	内 容
4月	開苑記念日	お弁当（赤飯、天ぶらの盛り合わせ、他） 桜、春のお菓子
5月	子供の日（節句）	抹茶のお菓子
6月	お楽しみおやつ	ソフトクリーム屋さん
7月	四季の食、七夕 お楽しみおやつ	土用の丑の日、七夕ちらし 塩まんじゅう
8月	暑気払い	東北まつりのお菓子、はちみつお菓子
9月	敬老の日 お楽しみおやつ	お祝い善 秋祭り屋台、ソフトクリーム屋さん
10月	お楽しみおやつ	秋の収穫祭おやつ①（中秋の名月）
11月	鮪フェア おやつバイング	マグロ丼、ネギトロ丼（鮪解体ショーを中止し変更） 秋の収穫祭おやつ②（ケーキバイング）
12月	クリスマス お楽しみおやつ 年越しそば	チキン、ケーキ お汁粉 かき揚げそば
1月	お正月 お楽しみおやつ	赤飯、おせち料理、雑煮風汁、菓子 正月菓子
2月	お楽しみ食	うな重
3月	ひなまつり お楽しみづくり	桜まんじゅう、桜餅 春のパンまつり

○部門計画の報告

「業務の効率化と栄養ケアマネジメントの充実を図る」

ご利用者の嚥下咀嚼機能の低下者が増加する傾向で、個別化する栄養管理がより複雑化され日々の業務と併用し体重減少や栄養低下を予防するための試案作業に費やすことが増えました。計画通りにマネジメントが進まなかったですが、委託側との協議や作業効率については献立、栄養価、簡素化と共同作業にて成果ができたことは次年度も継続していきます。コロナ禍の中でイベントが中止となるが多かったため、代替え案としておやつイベントへ切り替えていきました。今後も、マネジメントの充実とコロナ禍でも楽しめる食をテーマに取り組んでいきます。

令和2年度 在宅介護支援センター愛生苑の事業報告

1. 令和2年度部門計画・取り組みの評価

新型コロナウイルス感染拡大を防ぐための例外的な対応に終始した年度となりました。利用者との面接自粛、入院中の面会制限により十分なアセスメントができない場面がありましたが、どのような状況下であっても適切なケアマネジメントを提供し続けるため、事業所内での最新情報の共有や理解の確認に努め、利用者に感染をさせないことを最優先として課題に取り組みました。

令和2年度部門方針「地域に選ばれる事業所へ。応用力のあるチームに。」

1) 取り組み課題：質の高いケアマネジメントの実現

取り組み内容	評価
計画的、定期的にケアマネジメント資質向上のための会議・研修を実施する	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 困難ケースを中心に月1回の事例検討会を実施した。多面的総合的にアセスメント内容を深掘していくことで、アセスメント力向上に効果が見られたため、継続的に実施する。 ▶ ケアマネジメントの質の向上を目的とした定期会議を週1回開催した。新規および支援状況の共有が特に必要である利用者について情報を適時共有、また、コロナ関連や報酬改正等の最新情報の周知を行う。 ▶ 外部研修や他法人との合同研修は新型コロナウイルス感染拡大予防のために通常開催が難しかったが、可能な範囲での研修機会を確保した。R2年度は特にオンライン研修に慣れるために、数多くのZoom研修に参加した。
ケアマネジメントを行う上で自分たちに不足している情報・知識の取得	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 医療知識難病、精神疾患、認知症等の医療知識やケアマネジメントの注意点等についての勉強会を開催した。複数の病気を持つ高齢者や認知症の高齢者が増える中、個別対応のスキルをあげるために継続的な課題である。 ▶ R2年度はターミナルケアの依頼が増えたことが経験値となった。人生の終末期に、ケアマネジャーが臆することなく寄り添えるように、ケアマネジメントスキルの向上が課題である。
自立支援のための適正なケアプランを作成する	<ul style="list-style-type: none"> ▶ ケアプラン表2の作成方法や注意点、事業所ルール作りを進めた。帳票作成においてケアプラン作成（特に表2）に費やす時間が多い傾向にある。勉強会等で継続的に研鑽を行う。ケアプランチェックは担当者自らのチェックにとどまり、事業所の体制としての取り組みができなかった。

効果的なチームアプローチを実践する	▶他事業所との連携強化を図るために、情報発信のタイミングを逃がさないように電話やファックスを活用した。双方向の発信が必要に応じて行えるように継続的に取り組む。ターミナルケアが増えていることを受け、在宅医療との連携の取り方については今後の課題である。
-------------------	--

2) 働きやすい職場環境づくりの推進

取り組み内容	評価
ケアマネジメント業務の効率化推進	▶業務の効率化の大きな進展はなかったが、都度、必要な記録をもれなく記載するための取り組みを継続した。
ケアマネジャーの後方支援体制の確保	▶働き方についての意識づけにより、時間管理能力が向上して、前年度に比べて残業時間が短縮された。 ▶新規契約や困難ケースの同行訪問ができなかった。 ▶問題を抱えるケースに対するミーティングを適時行うことができた。ケースの情報共有ができたことで担当ケアマネジャー不在時の対応がスムーズにできた。すべてのケースの共有が図れるように引き続き、見える化を推進する。

3) 適正な事業促進

取り組み内容	評価
安定した事業所の運営	▶安定した人員体制により特定事業所加算Ⅱの継続取得及び法令遵守に努めた。コロナ禍ではあったが感染予防に配慮してR元年度及びR2年度の法定研修実習生計2名の受け入れを実施した。
関係各所との連携強化	▶コロナ禍であり包括支援センターや地域の他居宅介護事業所、地域の職能団体と顔の見える関係が制限されたため情報収集が例年通りとはいかなかった。R3年度においては、声の聞こえる関係づくりに留意していく。

2. 月別利用状況報告

1) 月別要介護契約登録数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
新規契約	4	3	3	2	6	3	3	5	4	1	5	5	44
契約終了	5	7	3	0	2	4	5	3	4	7	4	3	47
請求実績数	124	129	129	131	134	134	126	136	129	126	128	134	1560

ケアマネジャー常勤4名体制。月平均の請求実績数は130件（1人当たり32.5件）、

① 新規契約相談経由内訳

紹介元	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
区分変更							1						1
地域包括	1	2	2	1	6	2	1	5	2	1	4	3	30
病院/老健				1		1	1		1		1	1	6
家族直接	1		1									1	3
事業所		1											1
他居宅	2												2
生活支援課									1				1
合計	4	3	3	2	6	3	3	5	4	1	5	5	44

地域包括経由内訳：高津緑が丘 20、村上 4、阿蘇睦 3、大和田 2、八千代台 1

新規数は前年度より年間 12 件減。他居宅事業所からの引継ぎ依頼が少なかったため。

② 契約終了事由内訳

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
区分変更													0
死亡	3	3	2		1	4	4	1	3	1	2		24
長期入院		1			1					2	1		5
特養入所		2						1		1			4
老健入所	1						1			2	1	2	7
グループホーム入所												1	1
民間施設入所		1	1							1			3
転居													0
小規模多機能								1					1
保険利用中止	1												1
合計	5	7	3	0	2	4	5	3	3	7	4	3	47

利用終了数は前年より 5 名増加。ターミナルケースの増加により短期的なケアマネジメントとなった。

前年度のターミナルケア件数 3 件⇒9 件。

③ 要介護状態区分別内訳(実績数)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
要介護 1	34	36	37	35	36	37	34	39	38	38	37	37	438
要介護 2	42	43	42	41	43	46	44	48	45	43	45	47	529
要介護 3	24	24	26	28	30	28	27	25	23	22	23	24	304
要介護 4	12	14	13	13	13	13	13	14	14	14	13	15	161
要介護 5	12	12	11	14	12	10	8	10	9	9	10	11	128
合計	124	129	129	131	134	134	126	136	129	126	128	134	1560

前年度比の全体割合：要介護 1、2 の軽度者 59.86%⇒61.99%、3 以上の中重度者 40.2%⇒38.0%。

2) 認定調査実施状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
八千代市	1		1	1	1			1	2				7
他市											1		1
合計	1	0	1	1	1	0	0	1	2	0	1	0	8

コロナ特例のため介護認定期間 12 カ月延長が施行されたため認定調査の実施は前年比 4 割に留まった。

3) 介護予防支援及び介護予防ケアマネジメント一部委託業務状況

地域包括	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
大和田	1	1	1	1	2	2	2	2	2	2	2	2	20
高津緑が丘	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	60
八千代台	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	12
村上	3	3	3	3	2	2	2	2	2	2	2	1	27
阿蘇睦	3	3	3	3	2	2	1	1	1	1	1	0	21
合計	13	13	13	13	12	12	11	11	11	11	11	9	140

運営の安定化のため要介護件数取得率を強化し、結果として新規の一部業務委託を控えることとなる。

4) 加算取得状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
初回	4	4	4	3	6	3	3	5	4	2	7	6	51
退院退所	2	1	0	0	1	1	1	1	0	0	0	0	7
入院時連携	2	0	3	5	5	2	4	9	1	2	1	3	37

入院時情報連携は入院報告が遅れた場合を除き 3 日以内に連携を図った。短期的な入院が多く、また入院前の身体状況に戻り退院となったケースが多い。また、コロナによる入院中の面会制限により退院時の情報入手が電話での聞き取りや書面での情報提供に限定され、十分な状況把握ができにくかった。

3 計画的な研修参加状況

研修内容	主催	実施月	参加数
法的根拠を抑えたケアプランの作成	千葉県介護支援専門員協議会	9月	2
認知症のある人へのケアと専門職連携 (zoom)	八千代市医師会	10月	1
床ずれ予防 初級編 (zoom 研修)	オーケーサービス	8月	2
床ずれ予防 中級編 (zoom 研修)	オーケーサービス	9月	2
床ずれ予防 上級編 (zoom 研修)	オーケーサービス	10月	2
車椅子の在宅利用におけるリスクヘッジ (zoom)	オーケーサービス	11月	1
南関東ブロック研修会 (zoom 研修)	日本介護支援専門協会	11月	1
入退院時の医療との連携 (zoom)	ヤマシタ	12月	1

コロナ禍における車椅子選定の重要性 (zoom)	オーケーサービス	12月	3
ポータブルトイレ選定時のポイント (zoom)	オーケーサービス	1月	2
さまざまな看取りのかたち (zoom)	八千代在宅医療介護連携 支援センター	1月	2
介護認定調査員現任研修 (zoom)	千葉県	1月	4
歩行器シルバーカーによる運動不足解消とヒヤリ ハット事例について (zoom)	オーケーサービス	2月	3
支援システムの構築にケアマネジャーはどう関わ っていくのか (zoom)	千葉県介護支援専門協議 会	2月	2
居宅介護支援専門員現任研修/令和3年度に予定 される報酬改定についての最新情報 (zoom)	千葉県高齢者福祉施設協 会	3月	4
令和3年介護報酬改定説明会	千葉県介護支援専門員協 議会	3月	4
他法人の運営する居宅介護支援事業所との合同研 修 (セコメディック訪問リハビリ八千代サテライ ト稲葉PTに講師依頼、資料による研修)	美香苑/あおぞらの里ケア プランセンター/コープみ らい/愛生苑	3月	4

コロナ禍で行政や地域包括支援センター主催の研修、地域の職能団体の研修は開催されておらず、計画的な研修に参加するための十分な機会はなかったが、オンライン研修を活用して最大限の自己研鑽に努めた。次年度は法定研修についてもオンライン研修となることを想定して、受講しやすい環境を整えていく必要がある。

令和2年度 ケアハウスガーデンライフ八千代の事業報告

1. 職員数（令和3年3月31日現在）

職種	人数	常勤/非常勤
施設長	1名	常勤1名（兼務）
生活相談員	1名	常勤1名
寮母（介護職員）	4名	常勤2名/非常勤2名

2. 入居者介護認定状況（令和3年3月31日現在）

・定員 15名 入居者数 14名（男性6名 女性8名）

介護認定	男性	女性	合計
未申請（自立）	0名	2名	2名
要支援1	0名	1名	1名
要支援2	2名	0名	2名
要介護1	2名	0名	2名
要介護2	2名	4名	6名
要介護3	0名	0名	0名
要介護4	0名	0名	0名
要介護5	0名	1名	1名
合計	6名	8名	14名

3. サービス内容（令和3年3月31日現在）

①月別送迎支援状況（延べ人数）

上半期		下半期	
4月	11名	10月	19名
5月	7名	11月	16名
6月	9名	12月	21名
7月	11名	1月	13名
8月	18名	2月	15名
9月	23名	3月	27名
小計	79名	小計	111名
		年間合計	190名

②受診付き添い介助

自立	4名
付き添い介助	10名

④クラブ活動参加状況

内容	担当	実施回数	平均参加者数
リズム体操	職員1名	毎週1回	6.4名
音読	職員1名	毎週1回	3.3名
フラワーアレンジメント	職員1名	毎月1回	4.8名

⑤行事・余暇活動状況

月	活動内容	参加者数
4月	【お弁当企画】・はま寿し	12名
5月	無し	0名
6月	【お弁当企画】・凱旋門	12名
	【お弁当企画】・一幸	12名
7月	【お弁当企画】・パッツ	13名
	【お弁当企画】・とんでん	12名
8月	【お弁当企画】・やよい軒	13名
	【お弁当企画】・甲羅	13名
9月	・敬老の日のお祝い	11名
	【スイーツ企画】・コーギーコーナー	12名
	【お弁当企画】・バーミヤン	13名
10月	【スイーツ企画】・白妙	13名
	【お弁当企画】・HOT MOTTO	11名
	【外食】・かつば寿司	7名
11月	【外食】・かつば寿司	4名
	【スイーツ企画】・コーギーコーナー	12名
12月	・クリスマス会	12名
	【外食】・焼肉むさし	7名

1月	【リモート企画】・初詣（飯綱神社）	12名
	・新年会	13名
	【お弁当企画】・はま寿司	11名
2月	【スイーツ企画】・momom	10名
	【お弁当企画】・くら寿司	12名
3月	・ひなまつり	5名
	【お弁当企画】・一幸お花見弁当	13名
	【スイーツ企画】・米屋	8名

4. 苦情受付報告

- ・9月にエアコンがエラー表示で停止し使用できない状態であったが早急に業者へ連絡し修理を実施した。排水部の故障だった為ホースをつなぎキッチンへ配するようにし、完了までは応急的に使用できるように対応した。
- ・その他は大きな苦情はありませんでした。

5. 地域交流・慰問

団体名	日付	参加人数	内容
—	—	—	—

- ・特にありませんでした。

6. 入居者状況（令和3年3月31日現在）

①出身地

出身地	男性	女性	計
八千代市	6名	5名	11名
茂原市	0名	1名	1名
渋谷区	0名	1名	1名
習志野市	0名	1名	1名
計	6名	8名	14名

②入居前状況

家族と同居	4名
1人住まい（夫婦のみ）	10名

③月別入退所状況（令和2年度）

	入所	退所	退所の理由				月初日人数
			死亡	入院	介護施設	その他	
4月							15名
5月		1名		1名			15名
6月		1名		1名			14名
7月	1名						13名
8月							14名
9月							14名
10月							14名
11月		1名		1名			14名
12月							13名
1月							13名
2月	1名	1名		1名			13名
3月	1名						13名
計	3名	4名	0名	4名	0名	0名	—

④年齢構成状況

年齢区分	男性	女性	合計
60歳未満	0名	0名	0名
60～64	0名	0名	0名
65～69	0名	0名	0名
70～74	0名	0名	0名
75～80	1名	1名	2名
81～84	2名	1名	3名
85～90	2名	4名	6名
90歳以上	1名	2名	3名
合計	6名	8名	14名

- ・最高年齢 男性 93歳 女性 98歳
- ・最低年齢 男性 79歳 女性 77歳
- ・平均年齢 男性 85.2歳 女性 87.9歳 総合平均年齢 86.7歳

⑤ADL等の状況

在宅サービス利用者	訪問介護	8名
	通所介護	7名
	訪問歯科	7名
移動（一部重複）	自立	5名
	杖使用	1名
	シルバーカー	8名
入浴	自立	6名
	一部介助（訪問・通所介護）	8名
着脱衣	自立	14名
	一部介助	0名
食事	ご飯と常食にて自立	11名
	ご飯ときざみにて自立	1名
	お粥ときざみにて自立	2名
洗面	自立	14名
金銭管理	自立	5名
	一部介助（銀行関係）	2名
	家族管理	7名
居室清掃	自立	7名
	介助（ヘルパー利用等）	7名
洗濯	自立	10名
	介助（ヘルパー利用等）	4名
買い物	自立	4名
	一部介助（家族、職員付き添い）	5名
	不可	5名
通院（一部重複）	自立	2名
	送迎介助（職員）	2名
	送迎・付き添い介助（職員）	10名
服薬管理	自立	3名
	一部介助	11名

令和2年度 愛生苑デイサービスかがやきの事業報告

令和2年度の総評

- 活動については、新型コロナウイルスの感染予防のため外出企画やボランティアの活動を年間通じて中止した。行事が無くなった事で体を動かす機会が減ってしまったが、下半期から個別か小集団での機能訓練を行い身体機能の維持向上を図った。
- 感染症委員会では新型コロナウイルス予防のために消毒方法から、疑わしい症状があった場合のご利用者、職員の対応方法について確認を行った。同居家族に熱を出した場合の対応をしっかりと行う事が出来た。
- 消防訓練を行い、曜日によって避難時間が大きく変わる事が解った。介助が必要な方をどれだけスムーズに誘導できるかが課題となった。

実人数・延べ人数実績

月	実人数	延人数	月	実人数	延人数
4月	60名	385	10月	60名	456
5月	58名	404	11月	61名	436
6月	58名	452	12月	58名	493
7月	58名	475	1月	56名	411
8月	56名	455	2月	54名	406
9月	56名	439	3月	54名	463

令和2年度年度延人数合計 5,275名

活動・外出報告

4月	施設内活動	手芸・工作・書き方・壁面・絵手紙・折り紙・脳トレ・おとなの学校
	行事企画	無し
	外出行事	無し
5月	施設内活動	手芸・工作・書き方・壁面・絵手紙・ゲーム・折り紙・体操・脳トレ・おとなの学校
	行事企画	無し
	外出行事	無し

6月	施設内活動	手芸・工作・書き方・壁面・絵手紙・ゲーム・手話・脳トレ体操・折り紙・おとなの学校
	行事企画	無し
	外出行事	無し
7月	施設内活動	手芸・工作・民謡・書き方・壁面・絵手紙・ゲーム・折り紙・おとなの学校
	行事企画	無し
	外出行事	無し
8月	施設内活動	手芸・工作・書き方・壁面・ゲーム・脳トレ・折り紙・おとなの学校
	外出行事	無し
9月	施設内活動	手芸・工作・書き方・壁面・ゲーム・民謡・折り紙・おとなの学校・
	外出行事	無し
10月	施設内活動	手芸・工作・書き方・壁面・脳トレ・民謡・折り紙・ゲーム・音楽・おとなの学校・
	行事企画	無し
	外出行事	無し
11月	施設内活動	手芸・工作・書き方・壁面・ゲーム・民謡・脳トレ・折り紙・おとなの学校
	行事企画	無し
	外出行事	無し
12月	施設内活動	手芸・工作・書き方・壁面・ゲーム・折り紙・脳トレ・おとなの学校
	行事企画	無し
1月	施設内活動	手芸・工作・書き方・壁面・ゲーム・脳トレ・折り紙・音楽体操・おとなの学校
	行事企画	無し
	外出行事	無し
2月	施設内活動	手芸・工作・書き方・壁面・脳トレ・折り紙・体操・おとなの学校
	行事企画	無し
	外出行事	無し
3月	施設内活動	手芸・工作・書き方・壁面・ゲーム・脳トレ・おとなの学校
	行事企画	無し
	外出行事	無し

年間会議

4月	かがやき会議 営業会議	10月	かがやき会議 営業会議
5月	かがやき会議 営業会議	11月	かがやき会議 営業会議
6月	かがやき会議 営業会議	12月	かがやき会議 営業会議
7月	かがやき会議 営業会議	1月	かがやき会議 営業会議
8月	かがやき会議 営業会議	2月	かがやき会議 営業会議
9月	かがやき会議 営業会議	3月	かがやき会議 営業会議

委員会活動・勉強会

6月	感染症委員会	新型コロナウイルス感染予防対策について
11月	感染症委員会	新型コロナウイルス感染予防対策について

消防避難訓練

6月	令和2年6月27日（土）14時～14時30分 職員9名・ご利用者名合15 計24名で行った。 避難訓練（調理場から出火の想定で、ご利用者の避難誘導を行った。） 通報訓練（119番通報） 消火訓練（水消火器を使い初期消火訓練を行った。）
11月	令和2年11月20日（金）14時～14時30分 職員9名・ご利用者18名合計27名で行った。 避難訓練（調理場から出火の想定で、ご利用者の避難誘導を行った。） 通報訓練（119番通報） 消火訓練（水消火器を使い初期消火訓練を行った。）

令和2年度 グループホームなごみの事業報告

令和2年度目標

～相手の立場に立って、物事を考察できるサービス作り～

- 1、お互いを認め合い、明るい職場作りをする。
- 2、ご利用者の為のサービスを提供する。
- 3、相手の気持ちに立って行動をする。

1. 活動の振り返り

年間予定などを立てたが、新型コロナウイルスの影響で外出行事などを行うことが難しかった。ドライブや散歩などは天気の良い日に行い、散歩は公園以外で施設の周辺で、あまり人通りがないところを選んで実施した。

食レクも行ったが、昨年度は食材を買うためにご利用者と一緒に外出をしたが、今年度は密を避ける為買い物の機会が減ってしまい、昨年以上の食レクを行うことができなかった。

2. 家族会について

令和2年度は新型コロナウイルスの影響で家族会を行うことができなかった。半年に1回のペースで行っていたので、それに合わせ上半期と下半期に文書でご家族への報告を行った。

また、ご利用者がこの一か月どのように過ごしてきたかを「なごみだより」で毎月お知らせし、活動写真などを同封してご家族へ報告を行った。

3. 各委員会について

(1) 地域交流委員会

昨年度から新型コロナウイルスの影響で、大きなイベントを行うことができなくなってきていたが、RUN 伴はご利用者の方とオレンジのシャツを着て参加することができた。

また、あいあい保育園と連携を取り、ハロウィンの時期に保育園に職員だけ入らせていただき、園児達にお菓子などを届けることも行った。

(2) 身体拘束委員会

昨年度は数名で外部研修に行くことができ、新たな見方や考え方を皆で共有できたが、新型コロナウイルスの影響で外部研修を行うことができなかった。

しかし、事業所内での委員会活動および勉強会は、ユニットごとに分かれて年4回行うことができ、ユニットごとでアンケートを取る等工夫をしながら実施することができた。令和3年度も、同様の工夫をしながら実施していきたい。

(3) 感染症予防委員会

新型コロナウイルス対策として、厚労省の感染対策などを参考にしながら、感染症委員が中心となり職員に周知を行っていった。その様な中で、一名のご利用者に風邪症状を伴った体調不良がみられた為、念のため新型コロナウイルス疑いの対応を行った（結果は陰性）。予め資料などを確認し、適切なゾーニングを行いながら対応することができたと思われる。コロナワクチンの接種の有無に関わらず、当面は毎日職員同士で声を掛け合いながら、換気・消毒・手洗い等の基本的な対応を徹底して行っていく。

(4) 防災委員会

年3回の防災訓練を行い、消防立会い時に消火ホースを使い初期消火を行い、避難誘導や避難の仕方などを学びながら訓練を実施した。しかし、新型コロナウイルスの影響のため、例年は参加していただいている近隣の方が防災訓練には不参加となってしまった。

昨年度はご利用者と一緒に近隣の清掃活動にも参加していたが、新型コロナウイルスの影響の為中止になってしまったので、地域の方との交流などを行うことができなかった。

4. 利用者数等について

月	定員(延人数)	利用延べ人数	利用率
4月	540人	528人	98%
5月	558人	543人	97%
6月	540人	540人	100%
7月	558人	541人	97%
8月	558人	527人	94%
9月	540人	528人	98%
10月	558人	558人	100%
11月	540人	540人	100%
12月	558人	558人	100%
1月	558人	536人	96%
2月	504人	476人	94%
3月	558人	491人	88%
合計	6,570人	6366人	97%

令和2年度 小規模多機能居宅介護なごみの事業報告

1. 事業所名（サービス名）

小規模多機能居宅介護なごみ（小規模多機能型居宅介護）

2. 職員数（令和3年3月31日時点）

管理者 常勤職員 1名

計画作成担当者 常勤職員 1名

介護職員 常勤職員 7名 非常勤職員 6名

看護師 非常勤職員 1名

運転手 非常勤職員 1名

3. 年間利用実績

サービス別・月別延べ利用者数（単位：人）

	通い	宿泊	訪問	合計
4月	315	39	248	602
5月	357	69	267	693
6月	372	68	271	711
7月	409	74	297	780
8月	405	76	282	763
9月	385	73	248	706
10月	402	67	326	794
11月	401	69	299	769
12月	428	73	293	794
1月	401	70	269	740
2月	389	72	288	749
3月	424	77	352	853
合計	4,688	827	3,427	8,942
1日平均	12.8	2.3	9.4	24.5

要介護度別登録者数（単位：人）

	支援1	支援2	介護1	介護2	介護3	介護4	介護5	合計
4月	0	1	10	8	3	1	0	23
5月	0	1	10	9	3	0	0	23
6月	0	1	10	9	3	0	0	23
7月	0	1	11	10	4	0	0	26
8月	0	1	10	11	4	0	0	26
9月	0	2	9	11	4	0	0	26
10月	0	3	9	11	3	0	1	27
11月	0	3	9	10	4	0	1	27
12月	0	3	9	10	4	0	1	27
1月	0	3	10	9	4	0	1	27
2月	0	3	11	9	4	0	1	28
3月	0	3	11	8	4	0	1	27

4. 会議実施内容

- 4月3日 部門計画説明、コロナ発生時の対応について、業務日誌書式、カンファレンス
 6月9・10日 感染対応策について、働き方改革について、カンファレンス
 7月13・14日 入浴体制見直し、カンファレンス
 8月11日 ケアの見直し・統一、カンファレンス
 9月8日 コロナ対策について、秋祭りについて、カンファレンス
 10月13日 物品管理について、会議開催方法について
 2月20日 シフト組み方について、カンファレンス

5. 実習生受け入れ

※新型コロナウイルス感染拡大の影響により受け入れ中止とする。

例年、大原医療秘書福祉専門学校より第一段階2名受け入れ

実習日数 12日間ずつ（グループホームと合計）

《実習内容》

コミュニケーション、入浴・排泄介助、口腔ケア、レクリエーション実践など

6. 運営推進会議

構成員～民生児童委員、高津緑が丘地域包括支援センター、他施設管理者
八千代市介護保険相談員、家族代表、愛生会職員

《開催状況》

第1回 11月19日 活動内容報告、感染症対策

令和2年度は新型コロナウイルス感染症の影響を考慮し、開催は1回のみ。
資料送付にて対応。

7. レク活動実施内容

《定例》

ボランティア活動は、新型コロナウイルス感染症の影響にて受け入れ停止
職員活動⇒ボーリング、卓球、工作、ドライブ、散歩、脳トレレクなど

《地域交流》

- ・保育園交流（ハロウィンにお菓子を届けるのみ）
- ・RUN伴（動画による参加）

《年間行事》

- ・秋祭り、クリスマス会、敬老会（グループホームとの合同開催だが、フロアごとに行う）
- ・花見

8. 考察

令和2年度は、新型コロナウイルス感染症の影響により、多くの活動に制約が出た。デイ活動を中心としてボランティアや地域との交流が出来ず、レクリエーションの幅が狭まってしまった。

また、職員同士の集まりも制限があり、会議・勉強会の開催に支障がでた。分散開催なども行ったが、1回あたりの参加人数が限られてしまうため、有意義な意見交換に繋がらなかった。リモート開催案も出たが、苦手な職員や自宅での参加に難色を示す職員もいて、実現に至らなかった。今後は距離の確保、パーテーションの設置、換気等の対策を取って実施する方向で検討している。

登録定員25名から29名へ増員を達成でき、同時に通い・泊り定員も増員を図ったが、特に通いの利用回数増の要望が多く、かなり逼迫している印象であった。他の介護サービスが利用できないことを考え、常に臨時追加の受け入れに余裕を持ったスケジュールを組むことが求められる。また、訪問による見守り支援の強化などで理解を得ていきたい。

令和2年度 八千代市村上地域包括支援センター愛生苑の事業報告

1. 総合相談業務

相談件数・内訳

区分	項目	新規受付件数	対応延べ件数	
相談対応方法	電話	407	3625	
	来所	186	488	
	訪問	5	591	
	その他(FAX・メール)	1	90	
	合計	599	4794	
相談内容	権利擁護	消費者被害に関する相談	7	20
		成年後見制度に関する相談	6	115
		日常生活自立支援事業に関する相談	1	5
	介護	介護に関する相談	163	738
		介護保険制度に関する相談	259	1091
		施設入所に関する相談	35	211
		介護離職に関する相談	1	1
		ダブルケア(介護+子育て)に関する相談	0	0
		福祉サービスに関する相談	54	279
	ケアマネ支援	ケースに関する相談	32	834
		地域資源に関する相談	1	5
		経済的相談	15	179
		介護予防事業に関する相談	2	23
		医療・健康に関する相談	103	754
		認知症に関する相談	81	548
		書類説明・管理に関する相談	16	90
		安否・状況確認に関する相談	30	188
		地域生活に関する相談	33	231
		その他	77	614
		小計	916	5926
相談者	本人	141	1262	
	家族	212	1115	

	成年後見人	0	35
	民生委員	13	78
	近隣住民・知人	24	71
	商店・民間サービス業者・ボランティア(介護保険外)	8	104
	住宅の管理者・大家・管理会社	13	107
	介護支援専門員	45	1087
	介護保険サービス事業者	13	168
	医療関係者	66	428
	行政機関	23	233
	警察	35	90
	消防	0	0
	その他	6	16
	合計	599	4794

※受付件数は令和2年度での新規受付の実数。

※継続延べ件数は当センターからの連絡等も1件と計上。

2. 権利擁護業務

①高齢者虐待防止・権利擁護に対する取り組み

月日	実施主体	事項	目的			
			包括PR	虐待防止	認知症サポーター	他機関連携
令和2年9月～ 令和3年3月	村上地区民生児童委員連絡協議会	定例会(7回)	○	○		○
令和2年9月～ 令和3年3月	村上東地区民生児童委員連絡協議会	定例会(7回)	○	○		○
令和2年7月、 12月～令和3年 3月	村上支会	定例会(5回)	○	○		○
令和2年12月～ 令和3年3月	上高野支会	定例会(4回)	○	○		○
6月11日 10月28日	村上地域包括支援センター	高齢者虐待防止パンフレットの設置(イトーヨーカドー)	○	○		○
6月25日 10月29日	村上地域包括支援センター	高齢者虐待防止パンフレットの設置(ヨークマート八千代村上店)	○	○		○

6月11日 10月2日	村上地域包括支援センター	高齢者虐待防止パンフレットの設置(メガ・ド ンキーホーテ)	○	○		○
6月11日 10月2日	村上地域包括支援センター	高齢者虐待防止パンフレットの設置(八千代 中央図書館)	○	○		○
7月8日 10月28日	村上地域包括支援センター	高齢者虐待防止パンフレットの設置(村上公 民館)	○	○		○
3月19日	村上支会	認知症サポーター養成講座	○	○	○	

②高齢者虐待防止法に基づく新規通報数・対応数

高齢者虐待対応	新規通報件数	対応延べ件数
	6	296
	上記のうち前年度以前通報ケースの対応件数	225

3. 包括的・継続的ケアマネジメント支援業務

①地域支援ネットワークの構築・強化（※生活支援体制整備事業の活動なども含む）

月日	実施主体	事項	目的(該当の項目に○を付けてください)						参加人数・効果
			包括PR	虐待防止	認知症サポーター	他機関連携	地域ケア会議	その他(内容記入)	
令和2年9月～令和3年3月	村上地区民生児童委員連絡協議会	定例会(7回)	○	○		○		民生児童委員との顔の見える関係作りを行う。個別ケースの発掘、継続支援についても多大なるご協力を頂いている。地域課題の抽出にもつながっている。	
令和2年9月～令和3年3月	村上東地区民生児童委員連絡協議会	定例会(7回)	○	○		○		民生児童委員との顔の見える関係作りを行う。個別ケースの発掘、継続支援についても多大なるご協力を頂いている。地域課題の抽出にもつながっている。	
令和2年7月、12月～令和3年3月	村上支会	定例会(5回)	○	○		○		福祉委員を通し、地域住民に対し社会資源など情報提供を行っている。顔の見える関係も出来、福祉委員を通してのケース相談や地域課題の抽出にもつながっている。	
令和2年12月～令和3年3月	上高野支会	定例会(4回)	○	○		○		福祉委員を通し、地域住民に対し社会資源など情報提供を行っている。顔の見える関係も出来、福祉委員を通してのケース相談や地域課題の抽出にもつながっている。	
6月11日 10月28日	村上地域包括支援センター	高齢者虐待防止パンフレット	○	○		○		周知を行い、定期的な補充を通じて顔の見える関係作りを行った。残数がないと連絡を頂くこともあった。	
6月25日 10月29日	村上地域包括支援センター	高齢者虐待防止パンフレット	○	○		○		周知を行い、定期的な補充を通じて顔の見える関係作りを行った。季節により設置場所を変えていただき、見える場所においてくれた。	
6月11日 10月2日	村上地域包括支援センター	高齢者虐待防止パンフレット	○	○		○		周知を行い、定期的な補充を通じて顔の見える関係作りを行った。残数がないと連絡を頂くことがあった。	
6月11日 10月2日	村上地域包括支援センター	高齢者虐待防止パンフレットの設置 (八千代中央図書館)	○	○		○		周知を行い、定期的な補充を通じて顔の見える関係作りを行った。	
7月8日 10月28日	村上地域包括支援センター	高齢者虐待防止パンフレットの設置 (村上公民館)	○	○		○		周知を行い、定期的な補充を通じて顔の見える関係作りを行った。	
9月10日	村上地域包括支援センター	個別地域ケア会議				○	○	精神疾患がある高齢者に関する個別地域ケア会議を開催する。	
5月21日 7月16日 9月17日 11月19日	小規模多機能ホーム アゼリアガーデン	運営推進会議の出席 (書面会議含む)				○		事業所の健全な運営、利用者の充実した生活の実現。	
7月 9月 11月	特別養護老人ホーム むらかみの郷	運営推進会議(書面会議)				○		施設の健全な運営、入居者の快適で充実した生活の実現。	
9月	定期巡回・随時対応型訪問介護看護村上の郷	運営推進会議(書面会議)				○		事業所の健全な運営、利用者の充実した生活の実現。	
9月	リハブライド勝田台	運営推進会議(書面会議)				○		事業所の健全な運営、利用者の充実した生活の実現。	
10月7日	だんらんの家 上高野	運営推進会議				○		事業所の健全な運営、利用者の充実した生活の実現。	
11月7日	村上団地南管理組合	村上団地南管理組合定期総会	○					他地域での取り組みも紹介も交え、見守り活動について講義を行う。	
11月13日	八千代市社会福祉協議会	村上北小学校福祉教育	○					耳の聞こえない方、目の見えない方のお話を聞き、自分たちのできることを考える。	
11月18日	村上中央支会	転倒予防教室	○			○		転倒予防教室の講師依頼があり、貯筋体操、コグニサイズを参加者と行なう。	
12月18日	村上中央支会	転倒予防教室	○					転倒予防についての講義と、地域の困りごとについて調査。	
1月13日	オパール	元気体操グループ	○					認知症関連、消費者被害防止等についてメンバーへ周知行う。	
3月19日	村上支会	認知症サポーター養成講座	○	○	○			福祉委員の中でも認知症の心配がある方がいることから、認知症サポーター養成講座を開催。	

②介護支援専門員等に対する個別支援

実施種別	実施の有無	
	有	無
相談窓口	有	無
支援困難事例を抱える介護支援専門員への対応	有	無
個別事例に対するサービス担当者会議開催支援	有	無
質の向上のための研修	有	無
ケアプラン作成指導等を通じた介護支援専門員のケアマネジメント指導	有	無
介護支援専門員同士のネットワーク構築	有	無
介護支援専門員に対する情報支援	有	無
ケアプランの趣旨に基づいてサービスが提供されるよう、居宅サービス事業所 への研修等の働きかけ	有	無
その他(具体的内容を簡潔に記載)		

③地域ケア会議開催実績

開催状況	開催件数	2
	内容(重複可)	
	独居高齢者世帯に関するもの	2
	高齢者世帯に関するもの	0
	認知症高齢者の支援に関するもの	1
	介護支援専門員支援に関するもの	1
	その他	1

4. 介護予防普及啓発事業（いきいき教室の開催）

日時	参加人数	場所	内容
令和2年 8月25日	10名	村上団地1街区37棟第1集会所	運動の必要性について学ぶ
8月28日	11名		運動習慣による身体的効果について
9月1日	9名		転倒による危険性を学ぶ
9月4日	11名		継続した運動の必要性について学ぶ
9月8日	10名		身近で手軽にできる体操の実施
9月11日	11名		ロコモティブシンドロームについて理解する
9月15日	8名		口腔機能維持の大切さを学ぶ
9月18日	10名		認知症予防について理解する
9月18日	10名		運動習慣の大切さについて学ぶ

5. 認知症地域支援・ケア向上一部事業

月日	実施内容
毎月1回	八千代市認知症推進員会議出席
11月18日	認知症家族交流会開催（市内包括共催）
1月13日	認知症初期集中支援チーム・認知症推進員会議
3月19日	認知症サポーター養成講座開催（村上支会）
その他	認知症に対する相談対応・関係機関へのつなぎ

※認知症関連個別相談は総合相談実績に含む。

6. 生活支援体制整備事業

①会議等

月日	実施内容
4月.6月.8月.9月.11月	八千代市生活支援コーディネーター会議出席
3月5日	第1層生活支援体制整備事業協議体会議出席（書面会議）
9月24日	第2層生活支援体制整備事業協議体会議開催（下記参照）
3月4日	第2層生活支援体制整備事業協議体会議開催（書面会議）
その他の取り組みは 包括的・継続的ケアマネジメント支援業務、地域支援ネットワークの構築・強化欄に記載。	

②第2層生活支援体制整備事業協議体会議

日時	令和2年9月24日
場所	村上団地第1集会所
会議議題	生活支援体制整備事業および協議体の理解 村上団地内活動状況と課題について 課題に対する取り組みについて
参加人数	15名

(参加者数は地域包括支援センター職員を除く)

日時	令和3年3月4日
場所	資料送付
会議議題	今年度活動報告と来年度活動計画についての周知 コロナ禍での地域活動アンケートの実施
参加者数	10名

(参加者数は地域包括支援センター職員を除く)

③担い手養成講座

令和2年度は新型コロナウイルス感染予防のため、開催せず。

7. 指定介護予防支援、介護予防ケアマネジメント

①介護予防支援給付管理実績（月遅れ請求分は請求月に含む）

項目	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
給付管理件数	81	82	80	77	79	76	82	80	83	78	81	85	964
内 包括分	33	33	31	30	30	29	31	29	32	31	33	34	376
内 委託分	48	49	49	47	49	47	51	51	51	47	48	51	588

②介護予防ケアマネジメント給付管理実績（月遅れ請求分は請求月に含む）

項目	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
給付管理件数	103	110	111	112	113	113	111	111	108	102	101	110	1305
内 包括分	41	43	44	46	47	46	45	46	44	41	40	41	524
内 委託分	62	67	67	66	66	67	66	65	64	61	61	69	781

③介護予防支援、介護予防ケアマネジメント実務数（センター担当分）

a. 介護予防支援サービス計画作成数

新規	再作成	合計
14	40	54

b. 訪問対応件数

実数	延数
132	579

c. 電話・来所対応件数

電話	ケースに関連する内容	3365
	ケース以外の内容	25
	住宅改修のみ	131
来所	ケースに関連する内容	182
	ケース以外の内容	13

④介護予防支援、介護予防ケアマネジメント一部業務委託先一覧

介護予防支援及び介護予防ケアマネジメント 一部業務委託事業所	
グリーンヒル指定居宅介護支援事業所	あずみ苑勝田台
セントマーガレット病院	居宅介護支援事業所はにーびい
NPO法人 ユーアイやちよ勝田台	さくらリハビリ訪問看護ステーション
勝田台病院	ヤックスケアプラン大和田
在宅介護支援センター愛生苑	ほっとケア和
ライフパートナー居宅介護支援事業所	ケアプラン相談所・元気庵八千代店
勝田台ケアセンターそよ風	コープみらい高津介護センター
在宅介護支援センター美香苑	千葉新都市ラーバンクリニック
あすなる介護サービス	マイミーケアサービス
居宅介護支援事業所オーケーサービス	在宅介護支援センター八千代城
ういず・ユウ介護プラン相談所 支え愛	ケイワ介護サービス
ファーストステージ居宅介護支援センター	ケアプランセンターエイゼット
ケアサービス伊東 てまり営業所	スマイル(合同会社ネクスト・ワン)
指定居宅介護支援事業所ほうゆうの里	ケースマネジメントオフィス スマイルリンク
グリーンヒル八千代台居宅介護支援	居宅介護支援事業所グリーンケア
コミュニケア24志津居宅介護支援事業所	大和田訪問看護ステーション

※令和2年度中に給付管理を行なった居宅介護支援事業所 順不同。

8. 研修参加

日にち	研修名	参加者
11月17日、18日 12月5日、13日 1月14日、23日 2月6日、12日、24日 3月2日	令和2年度千葉県主任介護支援専門員研修	社会福祉士 (介護支援専門員)
10月21日	地域ケア会議に係る市町村研修会	主任介護支援専門員
11月30日	八千代市地域ケア会議	社会福祉士・介護支援専門員
12月1日	令和2年度千葉県地域包括支援センター職員現任者研修	看護師
12月16日	2020 高次脳機能障害地域支援者向け連続講座	看護師
1月14日	令和2年度認知症予防web講習会(ちばコグニサイズ普及事業)	認知症地域支援推進員
3月18日	千葉県高齢者虐待防止対策研修	社会福祉士
3月18日	令和2年度 千葉県認知症施策推進セミナー及び市町村チームオレンジ連絡会	認知症地域支援推進員

9. 会議参加

日にち	会議名	出席者
毎月1回	八千代市地域包括支援センター管理者会議	センター長
毎月1回	八千代市地域包括支援センター包括的・継続的ケアマネジメント会議	主任介護支援専門員
毎月1回	八千代市地域包括支援センター権利擁護会議	社会福祉士
毎月1回	八千代市地域包括支援センター介護予防関連会議	保健師等
毎月1回	村上地域包括支援センター課内会議	全職員
毎月1回	村上地域包括支援センターケース会議	全職員

※その他、地域関係者との会議については包括的・継続的ケアマネジメント欄に記載。